

001 出発から吹上温泉「白銀荘」まで

● 9月6日(土)から9月7日(日) 旅の始まり・我が家から新潟港へ、出港

・昨日までに、車の整備と衣類や山の用意それに食料の買い込みなど旅立ちの準備は完了しているので、今夜の出発までにやることは無い。そこでスポーツジム「ココカラ」へ出かけ、いつものように自転車30分、筋トレ30分やってからゆっくりと温泉に浸かってリラックス、後は今夜の出発待ちだ。

・毎年同じ、朋子に見送られて夜9時過ぎに出発した。例年11時前に出かけていたが、今年は家にもやる事が無いので、途中ゆっくり休みながら行こうと思い少し早く家を出た。相模湖ICから高速に入り圏央道経由で高坂SAに着いたのが11時、のんびり走ってきた。一息入れてから新潟を目指して関越道を北上する。真夜中の高速道路は交通量が少ないのでマイペースでのんびり走っても誰にも迷惑をかけることは無い。前橋を過ぎ赤城高原あたりから霧がかかりだし雨もぱらついてきた。関越トンネルを抜けてしばらく下ると霧も晴れその後は天気も安定して快適なドライブだった。深夜1時に湯沢石打SAに到着。霧の中を走ってきて疲れたし、真夜中で眠いのでここで仮眠した。今回は車内にベッドが常設されているので、横になってゆっくり寝ることができた。1時間半ほど寝たので頭すっきりで真夜中の関越道を時速70kmでのんびりと新潟へ向かった。4時半ごろから空が明るくなりだし、黒崎SAに寄った5時には夜が明けた。あんなにのんびり走ったのに新潟亀田ICを下りて新潟港に6時前に着いてしまった。港には乗船するライラック号がすでに停泊している。

出港は10時半、乗船開始が9時45分なのでちょっと早すぎると思ったのにもう車が4台も並んでいた。船室への持ち込み荷物をまとめたり、ターミナルのレストランで朝食をたべたり車内でテレビを見たりして乗船時間になるまで時間をつぶした。



フェリー「ライラック」

・9時15分オートバイから乗船開始、続いて今年も自衛隊車両が20台位乗り込んだ。自家用車は最後に乗船。シーズンオフなので60台くらいしかいない。車両甲板はガラガラだ。今年から「eチケット」なるものを使用するようになったので、窓口で乗船の手続きを行う必要がなくなり大変便利になった。

私の部屋はS寝台(S1-68)。荷物を置いてからいつものようにまず風呂へ走ったが、予想通り風呂は先に乗船した自衛隊の隊員で混雑していた。彼らが出て行って空いた浴槽でのんびりしていたので、風呂から出た時には船はもう出港していた。

・例年ならドラが鳴ってから、離れてゆく岸壁をビールを飲みながら眺めるのだが、今年は航跡の向こうに離れて行く新潟の街並みを眺めながらビールを飲んでた。



航跡を残し新潟港を後にする



ロビーには誰もいない

・夜行の疲れとビールの酔いでベッドに撃沈。13時前に目が覚めてデッキに出てみたら、海は穏やかで船は滑るように快走している。空は曇っているが水平線はくっきりと見え、遠くに本州の山並みがうっすらとかすんで見える。



船内に人がいない

・冷し中華の昼食と小樽・北の誉酒造のお酒を飲んだらまた眠くなった。目が覚めたら3時半を回っていた。空調が寒く体が冷えて調子が良くないので、また風呂に入って温まった。なんとか

元気を取り戻した。ロビーで高橋氏の著書「富士宮やきそば・ビーワンダー」を読みながら夕食をはじめた。例年なら大勢の乗客が酒盛りをしたりおしゃべりしたりして賑やかなロビーに、今年は誰もいない。シーズンオフとはいえこの寂しさは何だ！ 一人さびしくビールを飲みながら夕食を済ませた。何もやることは無いし、寂しいし疲れたので部屋に帰って7時過ぎに就寝。昨夜からの長い一日がこうして終わった。静かな良い一日だった。明日から北海道の旅が始まる。

● 9月8日(日) 小樽上陸・塩谷丸山に登り新篠津へ 天気・晴

・3時15分起床。3時半に船内放送「おはようございます」が流れ、みんなそろそろ起き出してきた。船はもう小樽湾内に入っていて小樽の町の灯が良く見える。

・定刻の4時半に接岸し、甲板の扉が開くと、隙間からまだ夜の明けていない小樽の街の灯が見えた。4時37分、私は殆どトップで下船した。夏ならもう明るいのに辺りは真っ暗。態勢を整えるべくとりあえずフェリーターミナルに入った。

朝食とトイレをゆっくりと済ませタブレットでメールをチェックしたりしているうちに夜が明けて陽がさしてきた。幸先いいぞ 天気は晴れた！

・6時過ぎ、今日予定の山「塩谷丸山」に向けて出発した。



甲板の扉が開いた



フェリーターミナルで夜が明けた

塩谷は小樽の隣町、すぐ近くなので 7時前に登山口に到着した。



塩谷丸山の駐車スペース



塩谷丸山の登山口・入山届け

・今日は日曜日、すでに先着の車が2台あった。6時50分、身支度を整えて出発。駐車スペースから広い道を少し歩いたところに登山口があり入山届けのスタンドが立っている。ここから林の中の草付きの道をしばらく登るのだが、北海道らしく蚊の大群が待ち受けていた。動作を止めると蚊が襲ってくるので休むことができない。約1時間手を振りながら歩き続け、一面笹原の明るい台地に出たところでやっと蚊の襲来がおさまった。が昨日雨が降ったのか、あるいは朝露なのか、背丈ほどある笹藪は水にしっかりと濡れており、足元はぬかるんでいる。そろそろ休みたいのだが、道は狭いし草や笹は濡れているし休む所など見当たらない。仕方なく歩き通し雨に降られたように全身ずぶ濡れでとうとう一度も休むことなく山頂まで歩いてしまった。駐車場に先着していた2台の車の人と思われる登山者が下山してくると途中ですれ違った。



明るい笹原の台地に出た

・山頂に8時20分到着。山頂には私一人だけ。
・登りきった所に三角点があるが、その奥少し行った所に本当の頂上があり、立派な祠が建ち横に錫杖が立っている。



塩谷丸山・手前の山頂



塩谷丸山・奥の本山頂

・ 山頂の展望は素晴らしく、積丹半島が見渡せその前の眼下に余市の街並みが見える、絶景！



塩谷丸山山頂からの展望

・ しかし積丹半島の上には雲がかかっていて全容が見えない。また南西の方向にはニセコの山並みと羊蹄山が見えるはずだが残念ながら雲が邪魔して全く見えなかった。遠くは雲で見えないが山頂は天気良く日差しが暑いほどで気持ちがいい。

・ 男の子を 2 人連れた若夫婦がやってきて食事？を楽しんでいた。私は 1 時間ほど山頂でくつろいで 9 時過ぎにもと来た道を下山した。

・ 今日は日曜日で天気の良いし、小樽近郊の人気の山と云うことで、若いカップルや家族連れなどが

どんどん登ってきた。さぞかし山頂は混雑だろうなと思いつつ、早く下山してきて良かったと思った。登山口に着いたのは 10 時半、駐車スペースは車で満杯、路上駐車が下の方まで続いていた。天気は快晴、強烈な日差しに濡れた靴を乾かしながら、ちょっと早いけど道端で昼食を摂った。



塩谷丸山山頂で家族連れが

・ 今日の宿泊予定地は道の駅「しんしのつ」。昨年新篠津に開業した新しい道の駅で期待が大きい。小樽を抜けて北東に向けてのんびりと走ったが、近いので 1 時前に着いてしまった。



道の駅「しんしのつ」



道の駅の全貌

広々とした畑の中にポツンと出来た立派な道の駅、交通の要所でもないこんなところになんで作ったのだろうかと思議な気がする。まず山の疲れを癒すべく日帰り湯「たっぴの湯」へ入った。北海道ではちょっと高い 600 円、でも気持ちが良いとさっぱりした。外は日差しが強くて暑いけど気温は 24℃で風が

爽やか、寒いくらいだ。まだ 3 時すぎで夕食まで時間があるので、この広大な道の駅「しんしのつ」を散歩してみた。

・ここは「篠津公園」の一角で、道の駅の宿泊施設と温泉とレストランのほかキャンプ場、パークゴルフ場、展望塔等があり、道の駅の建物の他に「アイリス」という施設建物があってその中にも風呂とレストランがあった。この風呂は入湯料 400 円で 70 歳以上は 300 円だと！！（新篠津村の住民限定と書いて無かったので部外者でもいいの？）

・周りを見渡しても大きな村落は見当たらない畑の中に、こんなに大きな道の駅といろいろな施設を作って誰が利用するのだろうか？

・5 時 45 分まだ明るいが夕食を食べるため道の駅のレストランに入った。お目当ては「エゾシカのカルビ定食（880 円）」。カロリーは牛肉の 1/3 とかでヘルシーだが結構うまい。生ビールが腹にしみわたった。そのうちレストランも結構混雑してきた。

どこから集まって来たのかな？ 宿泊客かな？

6 時 20 分退席し外に出たが、なんともう暗い。

夏ならまだまだ明るいというのにえらい違いだ。

腹がいっぱい、ビールで良い気分、やることも無いので就寝となった。



篠津公園の展望台



エゾシカのカルビ定食

● 9月9日（月） 移動・富良野から吹上温泉「白銀荘」へ 快晴

・昨夜は寒かった。夜トイレへ出たら寒くて身震いしたのですぐジャンパーを着込んだ。

朝 5 時半起床。外はもう明るい。天気は快晴、気温 14℃。朝飯前の散歩で展望台へ登ったら 360 度の展望。北に暑寒別山の山並み、東に十勝連山、西にはニセコ方面がくっきりと見える。



展望台からの 360 度の眺め

・7 時にパンとコーヒーで簡単に朝食を済ませ、早朝で日差しが弱いうちにと、この公園の散歩に出た。そばを流れる石狩川から離れて出来たと思われる沼のほとりを歩いたが、北欧を歩いているようなすばらしい環境と景色だった。今日の目的地は吹上温泉、それほど遠くないので新篠津をゆっくり楽しんでから通過地の夕張を目指して出発した。



北欧に居るようだ

・雲一つない快晴。こんな日は山に登っていたいの移動なんてもったいない、貴重な一日だ。



夕張駅に始発の車両が

・夕張にはほぼ毎年訪れているが年々寂れて行くのが感じられ、今年はどうなっているのだろうか心配だった。まず取っ付きの鹿鳴館に寄って見た。数年前に来た時は改修中だったがもうすっかり改修も終わりきれいになっていた。ただ開館時刻10時の前に着いてしまったので、見学できず先を急いだ。夕張鉄道の終点夕張駅、メルヘンチックなかわいい駅だ。始発の車両が1両止まっている。

その後ろにでかい「ホテル・レイスイ」が建っている。シーズンオフで早朝と云うこともあろうが、駅前周辺に観光客の影は全く無い。数年前はかなり賑わっていたが。ホテルの中を歩いてみたが、人影が全く無くガランとしていた。



夕張駅とホテル・レイスイ

・さて次は本命の「夕張希望の丘」だ。田中義剛が夕張の再生に向けて開き、当初は広い駐車場が溢れるほどの集客を誇った一大事業だったが年々寂れ去年は本当に閑散としていた。恐る恐る寄ってみて今年見たのは、案の定惨憺たる光景だ。



昔は車で一杯だった「夕張希望の丘」駐車場



生キャラメル工場は閉鎖され草ぼうぼう

・まず生キャラメル工場は閉鎖され草ぼうぼう、直営ショップは営業しているが商品は少ないし客は誰もいない。

・希望の丘の奥にあるテーマパーク。面白い所なので毎年楽しみにして寄っていたが、今年いってみたら、テープが張ってあり入場禁止で草ぼうぼう、閉鎖されていた。誰もいないのでテープをまたいで中に入ったが、映画博物館は戸閉めで入れず、続きのレストランはテーブルや椅子が全て取り払われていてがらん堂だ。当初はホエー豚料理で繁盛していたのに！



テーマパークはテープが張られ閉鎖



映画博物館は戸閉めされガランとしていた



懐かしい「シネマのバラード」



北野たけし美術館は絵が撤去され寂しい空間に

・北野たけし美術館は展示してあった絵画が全て無くなりガランとした大広間。隣の所ジョージ博物館は堅く閉ざされていた。偶然開業初日にここへ来て、その時見た夕張の賑わいと感動が忘れられず毎年必ず寄ってきた夕張だが、たったの5年でこんなに寂れて廃墟となってしまったのが信じられず涙が出てきた。

あれは夢だったのか！夕張映画祭はもうやらないのか？夕張の再生はどうなるのだろうか？

北野たけし美術館に飾られていた絵は、その一部が直営ショップに飾られていた。



北野たけしの絵は一部ショップに飾ってあった

・寂しい気持ちで夕張を後にし富良野へ向かった。
富良野に入ったのがまだ昼過ぎで早いで、久しぶりで美瑛に行ってみることにした。JR美瑛駅に寄って写真を撮り、道の駅「くら」に寄ってから美瑛の丘へ向かった。



久しぶりの「美瑛の丘」



メルヘンチックな「美瑛駅」

・久しぶりで「マイルドセブンの丘」を見てから「北西の展望台」へ。

今日は快晴、富良野岳から十勝岳へ続きオプタテシケ山、トムラウシ山と通って大雪山系の旭岳へと続く大パノラマがくっきりと見渡せた。



北西の展望台から眺める十勝連山と大雪山系

・美瑛の丘を下りて国道 237 号線を南下して上富良野へ向かう途中に、赤と黄色の絨毯を敷き詰めたようなメチャ綺麗なお花畑があったので寄ってみた。30 年も前に朋子と二人で北海道を回った時に寄って写真を撮ったと同じ「カンノファーム」だ。あの時と同じ光景が再現されている。感激。



かんのファームのラベンダー



・セイコーマートで今夜と明日の食料を買い込んで吹上温泉へ。もうお馴染みの白銀荘だ。目の前には十勝岳、美瑛岳が青空に浮かびあがって聳えている。チェックインして荷物を部屋に置いてすぐ風呂へ。懐かしい、良い風呂だ。今まで無かった露天風呂が出来ていた。十勝、美瑛の山並みを見ながら風呂に入る、なんと贅沢なことだろう。夕食は自炊食堂だが、10人位の年寄り団体がガヤガヤ調理していた。私の隣には大網白里町のおじさん、20年生まれという。ビールを飲みながらいろいろお話した。電車とバスで来て北海道の山を登っていて、明後日帰るという。

明日は予定通り富良野岳へ登るつもり。天気も良さそうだ。



吹上温泉・白銀荘の夕暮れ